

高知海岸堤防(南国市久枝～高知市仁井田、高知市長浜～土佐市新居)

地震・津波対策工事が完成しました

国土交通省四国地方整備局 高知河川国道事務所



南海トラフを震源とする地震は、今後三十年以内に約七十～八十%の確率で発生すると言われており、南海トラフに面する高知県では地震・津波により甚大な被害が起ると予測されています。

国土交通省および高知県では、地震・津波対策として平成二十三年より海岸堤防の耐震補強工事を進めてきましたが、令和三年十月に高知県南国市久枝(物部川堤防との境)から高知市仁井田(高知新港)までの区間および高知市長浜(花海道東端)から土佐市新居(萩岬の東)まで約十八キロメートル区間の工事が完成しました。

地震では、地盤全体が下がる広域地盤沈降と言われる沈下と、揺れと地下水による地盤の弱体化により引き起こる液状化沈下の2つの要因により、海岸堤防の高さが地震の後に津波の高さより低くなってしまふことで大規模な浸水被害が起ると予測されています。

平成二十三年三月に発生した東北地方太平洋沖地震でも、津波が海岸堤防を超えて多くの家屋の流出や尊い命が失われました。

そのため、工事としては、地震での海岸堤防の沈下量を小さくすること、沈下しても津波の高さより高く残るようにするための対策を実施しています。

長期間に渡る難工事ではありませんでしたが、地域の方々の協力もあり無事完成することができました。

今後とも安全・安心はもとより地域に親しまれるような海岸整備に努めてまいります。

長浜・御畳瀬連携協議会 加盟一覧・専門部会構成表

令和4年 2月 現在

地域福祉部会

活動目的		部会役員	
地域住民間の絆を深め、お互いに支えあいながら、子供から高齢者まで地域住民が安心して暮らせる町づくりに取り組む		部会長	永吉 誠志 東塩谷公民館 館長
		副部会長	長浜小学校PTA会長 南海中学校PTA会長
No.	名 称	No.	名 称
1	御畳瀬ふれあいセンター	12	高知市立長浜小学校
2	長浜ふれあいセンター	13	長浜小学校 PTA
3	長浜市民会館	14	長浜小学校子供見守り協議会
4	長浜保育園	15	高知市立南海中学校
5	御畳瀬地区民生委員児童委員協議会	16	南海中学校 PTA
6	長浜地区人権啓発推進委員会	17	南海地区補導委員会
7	御畳瀬地区社会福祉協議会	18	御畳瀬地区人権啓発推進委員会
8	長浜地区民生委員児童委員協議会	19	杉の子せと幼稚園
9	長浜・御畳瀬・浦戸地域包括支援センター	20	社会福祉法人 おさなごの園
10	高知地区更生保護女性会南分区	21	個人会員
11	高知保護区保護司会南分区		

地域活性化部会

活動目的		部会役員	
地域の文化・スポーツ活動など通じて、地域住民の交流や活性化に取り組む		部会長	坂本 径世 もとちかこじゃんと楽市
		副部会長	堀 美智雄 長浜体育会 高見 充子 みませ祭実行委員会
No.	名 称	No.	名 称
1	御畳瀬ふれあいセンター運営委員会	7	長浜小学校区青少年育成協議会
2	長浜ふれあいセンター運営委員会	8	長浜地区体育会
3	JA高知市長浜支所	9	長浜女性学級
4	高知県漁業協同組合御畳瀬支所	10	みませ祭実行委員会
5	長浜地区町内会・公民館連合会	11	元親こじゃんと楽市
6	御畳瀬地区町内会	12	土佐の鎌倉 長浜を歩く会

安全・安心部会

活動目的		部会役員	
地域の防災・防犯・交通安全活動の推進に努め、安全・安心・快適な町づくりに取り組む		部会長	青木 健一 防災士「長浜会」会長
		副部会長	新川 泰造 消防団御畳瀬分団長 中山 伸一 交通安全協会高知南支部長浜分会長
No.	名 称	No.	名 称
1	防災士「長浜会」	5	長浜交番連絡協議会
2	消防団 長浜分団	6	交通安全協会高知南支部長浜分会
3	消防団 南部分団	7	長浜小学校交通安全会議
4	消防団 御畳瀬分団	8	長浜防災連合会

長浜・御畳瀬 連携協議会

(事務局) 〒781-0270 高知市長浜690-5
高知市長浜ふれあいセンター内
TEL:088-842-2211
FAX:088-842-2239

新規加盟案内

本会の主旨に賛同し、共に地域の発展に協力頂ける団体・個人の方の加入を歓迎します。ご希望の方は、左記事務局までご連絡を下さい。

地域の魅力を発掘し発信する 「こうちみませ楽舎」本格開校

高知市では、令和2年3月に策定した「長浜・御豊瀬・浦戸地域振興計画」に基づき、地域と行政が力を合わせて、賑わいづくりや地域情報の発信などに取り組んでいます。

地域振興に取り組むにあたり、まずは地域活性に携わる多様な人材を地域内外から発掘し、地域内で自発的な活動を促していく仕組みづくりとして、旧御豊瀬小学校を拠点に活動する地域おこし学校「こうちみませ楽舎」を令和3年度から本格開校しました。令和3年度の成果は、2月に配布した地域限定広報「里海かわら版」で特集しています。

こうちみませ楽舎には、「地域おこしに興味がある」「長浜・御豊瀬・浦戸地域で新しいことに挑戦したい」という方が集まってきており、「学び」と「実践」で生まれた受講生のアイデアを、今後地域の皆さんと一緒に実現していくことで、交流人口が拡大し、新たな賑わいやビジネスが生まれ、長浜・御豊瀬・浦戸地域の振興につながっていくことを期待しています。興味がありましたら是非ご参加ください。もちろん、見学も大歓迎です。



受講生が考案した元親武者ムシャバーガー

地域の賑わいづくりとしては、令和4年2月に「こじゃんと！ゆり海道」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により残念ながら中止となりました。社会情勢の厳しいなか、ギリギリまで開催を検討しご尽力いただきました地域の皆さんや関係者の皆さんに、この場をお借りしてお礼申し上げます。引き続き、地域の魅力や、こうちみませ楽舎の成果をPRできる企画を検討してまいります。



高知市地域活性推進課 課長 森田 加奈子



かるた制作に取り組む受講生

に、地域おこし協力隊2名を受け入れる予定です。本月初となる地域おこし協力隊には、地域活性推進課の職員と一緒にこうちみませ楽舎の企画・運営や、地域の魅力発信など、長浜・御豊瀬・浦戸地域の振興に携わっていただきます。地域のことを良く知る皆さんのご協力も不可欠です。できることから少しずつ、一緒に地域を元気にしていきましょう。

教育に包まれて長浜小6年生 「ゆり花アレンジメント教室」開催

梅雨空の続く昨年六月十一日、長浜小学校六年生の教室で、中村農園より提供頂いたゆり花のアレンジメント教室を開催しました。

これは鎮守の森公園で昨年二月に開催しました「こじゃんとゆり海道」に沢山の来場者を迎え、高い評価が得られた成果を一過性のもので終わらせることなく、地域の産業資源を子供達にも知ってもらい、地域に根付かせることが大切との思いで、中村農園社長に相談し賛同を頂き、丁度6月にゆり品種の試験栽培を行って寄贈頂けることとで、長浜小宮地校長に提案し教室の開催となりました。

当日は多くのマスクも詰め掛けるなか、中村社長から、ゆりの花言葉「純粋・無垢」と教わり、ここ長浜では60年前からゆり花の生産が始まり、生産額では日本一と教わっていました。続いて講師に依頼した地元で花店を営む葛目めぐみさんから、手際よくゆり花・霞草・あじさい・レモンリーフ等を、準備されている吸水性スポンジの容器に、飾り付けを教わりながら楽しんで完成させて行きました。未だ蕾のゆり花ですが、早速各自でタブレットに撮影して持ち帰り、明日頃から開花しだして家族中が見事に感動されたのでは…。



後日、関係者にて反省会と今後の対応につき協議、今後も継続して教室を開催し「長浜のゆり花」を皆が愛でる文化を育む活動を展開してまいります。

地域防災活動コーナー

令和3年度 「南海中学校区防災活動の日」訓練の報告

昨年度は、コロナウィルス禍で実施できなかった、南海中学校区の防災訓練が十一月七日「南海中学校区防災活動の日」として、地域の住民と一体となり、午前中は津波避難訓練を、午後には中学生の被災者支援活動訓練が、地域の各防災団体による指導の下、学校と地域が協働し取り組みました。

まず津波避難訓練では、地域に43箇所ある避難場所に、午前9時30分に地震が発生し、大津波警報も発令されたとして避難訓練を行いました。各避難場所では地区の中学生が「避難受付証」で避難者名簿の作成をし、地域住民と中学生で意見交換の反省会が実施されました。当日の訓練参加者は八百名近く例年位でしたが、20代、30代の参加者が少なく、避難先での中心となつて活躍できる若い方たちの参加を、検討する必要があります。幼児のいる若い家庭で家族の命を守るためには、寒い夜中であっても避難場所へ避難する行動が求められます。年一回の避難訓練に参加頂き自分たちの避難場所を熟知するため、訓練に参加し備えて頂くと思われま

午後からの被災者支援活動も目的とした訓練では、まず体育館で一堂に会し訓練目的・意義等を確認の元、各学年に別れて1年生では



南海中学校では今後とも毎年継続し、各学年で防災技術を習得し、将来災害発生時には地域住民の核となり、自らの命・家族の命・地域住民の命を守る大人となることを期待しています。

長浜防災連合会 会長 内田 俊彦

防災士「長浜会」 南海中学校で「避難所運営訓練」を実施する

「長浜会」では昨年の避難所開設訓練に引き続き、十一月二十一日に南海中体育館で、大災害が発生し多くの家屋が倒壊したため高知市の指定する「避難所」で、家族共々避難生活を他の多くの被災者家族とともに生活するとして、災害時に「避難所」を円滑に運営するための訓練を実施しました。

高知市では既に災害発生後に、指定する避難所毎に開設する時、及びその後避難所を被災者で協働し運営するマニュアルを策定し防災関係者には配布されています。今回はそのマニュアルに沿って訓練を実施しました。この運営訓練は未だ他の防災関係者では実施されていなく、多くの関係者にも注目を受けていました。

訓練には長浜防災連合会、南海中学校NSP部及び呼びかけに応じられた地域住民・地元各消防分団、長浜交番所からも参加頂き午前九時から開始。マニュアルに規定されている各リーダーのもとに総務班・避難者管理班・施設管理班・救護要配慮者支援班・環境衛生班・食糧物資班の六班に、事前に参加者



大勢の被災者が家族・住む家屋等を失くし悲嘆にくれる中、一堂に会し共同で生活することで様々な問題が発生することが想定され、電気・水道・ガス等日常の快適で便利な生活は一変し、願わくは体験したくはありませんが、南海地震はやがてやって来ます。

防災士「長浜会」 会長 青木 健一

地域活性活動コーナー